

ザノサ一点滴静注用 1g

【この薬は？】

販売名	ザノサ一点滴静注用 1g ZANOSAR IV Infusion 1g
一般名	ストレプトゾシン Streptozocin
含有量 (1バイアル中)	1.0g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、抗悪性腫瘍剤（抗がん剤）の中のアルキル化剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、細胞の DNA 合成を阻害することにより、がん細胞の増殖を抑制し、病態の進行を抑制します。
- ・ 次の病気の人に、医療機関で使用されます。

膵・消化管神経内分泌腫瘍

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 患者さんや家族の方は、この治療の必要性や注意すべき点などについて十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した場合に使用が開始されます。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・ 過去にザノサー点滴静注用に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・ 糖尿病のある人
 - ・ 腎臓に障害のある人
 - ・ 授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬の使用前に、血液検査、腎機能検査、血糖値の測定、肝機能検査、尿検査などが行われます。
- 血糖値が高い人は、この薬の使用前に血糖値をコントロールするための治療が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

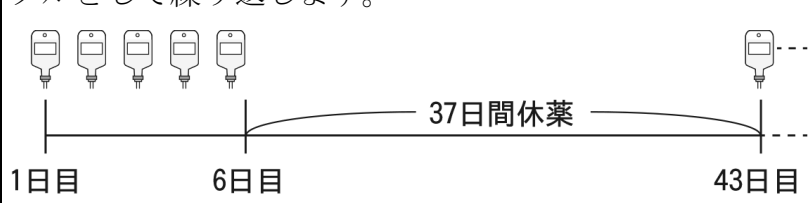
この薬は注射薬です。

● 使用量および回数

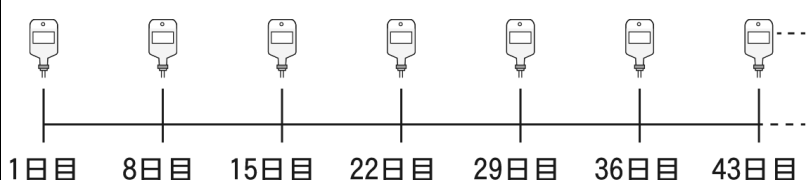
使用量、使用回数などは、あなたの体表面積（身長と体重から計算）や症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

〔5日間連日投与方法〕

一回量	体表面積 1m ² あたり 500mg
使用回数	1日1回5日間連日、静脈から30分～2時間かけて点滴注射し、その後、37日間休薬します。これを1サイクルとして繰り返します。 

〔1 週間間隔投与法〕

一回量	体表面積 1m ² あたり 1,000 mg
使用回数	1 週間ごとに 1 日 1 回、静脈から 30 分～2 時間かけて点滴注射します。 

- ・ 1 週間間隔投与法では、あなたの症状などにあわせて 1 日 1 回体表面積 1m²あたり 1,500mg まで増量されることがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ 重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に腎機能検査および尿検査が行われます。
- ・ 重篤な骨髄抑制があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。
- ・ 錯乱（注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない）および嗜眠（刺激がないと眠ってしまう）があらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作をするときには注意してください。
- ・ 耐糖能異常があらわれることがあるので、定期的に血糖値の測定が行われます。
- ・ 肝障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・ 妊娠可能な女性は適切な方法で避妊してください。
- ・ パートナーが妊娠する可能性のある男性は適切な方法で避妊してください。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使用することはできません。
- ・ 授乳している人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
腎障害 じんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ
耐糖能異常 たいとうのういじょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える、お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
肝障害 かんしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	むくみ、体がだるい、発熱、寒気、出血が止まりにくい、体重が減る、冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、力が入らない
頭部	頭が重い、意識の低下
顔面	鼻血、血の気が引く
口や喉	喉の痛み、歯ぐきからの出血、喉が渇く、水を多く飲む、吐き気
胸部	動悸、息切れ
腹部	お腹がすく、食欲不振
手・足	手足のふるえ
皮膚	あおあざができる
尿	尿量が減る、尿量が増える

【この薬の形は？】

販売名	ザノサー点滴静注用 1g
色調・剤形	微黄白色～微黄色の塊又は粉末
形状	バイアル製剤 

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ストレプトゾシン
添加剤	無水クエン酸 220mg、pH 調整剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：ノーベルファーマ株式会社 (<https://www.nobelpharma.co.jp>)

カスタマーセンター

電話：0120-003-140

受付時間：9:00～18:00（土、日、祝日、会社休日を除く）